

(2014)

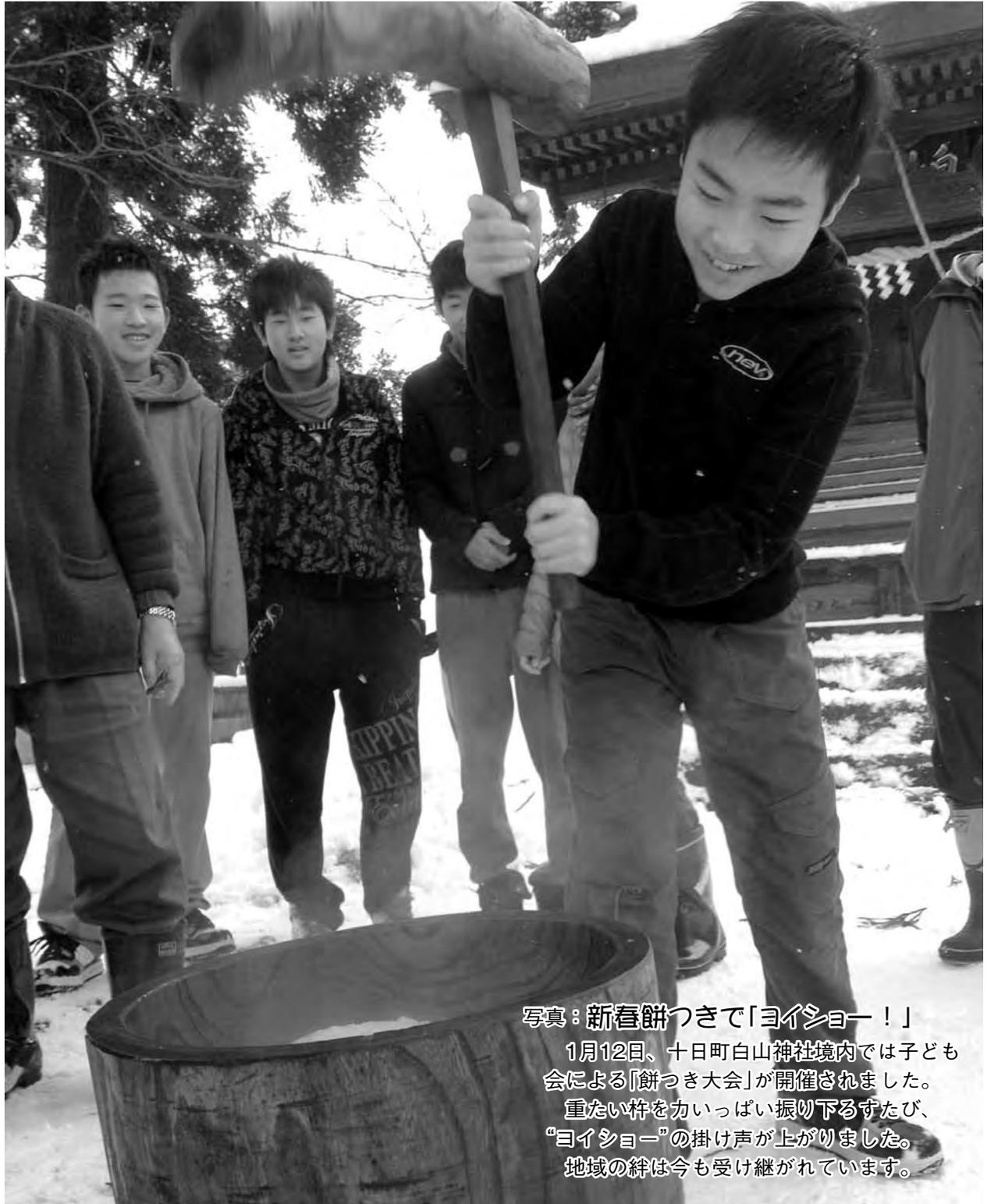
平成26年2月

第104号



ながい

市議会だより



写真：新春餅つきで「ヨイショー！」

1月12日、十日町白山神社境内では子ども会による「餅つき大会」が開催されました。

重たい杵を力いっぱい振り下ろすたび、「ヨイショー」の掛け声が上がりました。地域の絆は今も受け継がれています。

発行／長井市議会 編集／ながい市議会だより編集特別委員会 TEL (0238) 87-0812 (直通)

長井市議会ホームページ <http://www.city.nagai.yamagata.jp/gikai/>

この議会だよりは、議員が執筆した記事を掲載し、議員の自主編集により発行しています。

年頭にあたって

議長 小関勝助

新年あけましておめでとう
ございます。年頭にあたり議
会を代表して、ごあいさつを
申し上げます。

長井市議会においては、常
に開かれた議会を目指すため
に、「インターネット中継」
や「議会だより」などによつ
て、さらなる情報公開や議会
の活性化に向けて努めていき
たいと考えています。また、
地方議会にとっては最高規範
ともいえる「議会基本条例」
の制定に向けても鋭意取り組
んでいるところです。

今年、本市は市制施行60周
年を迎え、新たに第5次総合
計画がスタートします。市民
生活の向上や教育・福祉の充
実などにより本市のさらなる
発展に努めてまいります。

結びに、この一年が市民の
皆さまにとって幸せでありま
すよう心か
らご祈念申
し上げ、あ
いさつとい
たします。



11月臨時会：概要

11月15日

一般会計補正予算673万円▶全会一致で可決

①豪雨災害義援金配分事業 233万円

昨年7月に発生した豪雨災害に対し、市内外から寄せられた233万円の義援金を、住家床上浸水などの被災された方々や被災者支援団体などへ支給するものです。

②伊佐沢小学校周辺環境整備事業 440万円

伊佐沢小学校東側の杉林が大きくなり、学校が日陰になり融雪が進まないことや、落雪による事故も心配されていました。さらには、教室が暗く、学校生活や学習などに支障が出てきたため、積雪前に伐採（120本）を完了するために、11月臨時会に提案されました。（伐採処分経費320万円など）



伐採前



伐採後

12月定例会：概要

12月2日～19日

一般議案5件、平成25年度補正予算6件が提案されました。そのうち「文教の杜指定管理料」の債務負担行為については、引き続き指定管理を予定している一般財団法人「文教の杜ながい」の組織運営体制の再構築などを含め、「文教の杜の運営に関わる市の対応策を再検討したうえであらためて提案したい」として*議案の訂正（撤回）が提案され、全会一致で「議案の訂正」を承認しました。

なお、その他全会一致で承認された補正予算4億1930万円の主なものは、以下のとおりです。

*議案の訂正…議会に提出した議案に誤りがあったとき、これを改めることを訂正といいます。

①防犯灯整備事業

修繕料不足による増額補正（550万円）

②単独河川整備事業

豪雨時の増水対策のため、慈光園北側の天ノ沢や撞木川の改修工事（2,500万円）

③道路除雪事業

除雪車及び消雪施設の修繕費増額と、道路除雪作業の委託分及び機械借上料の増額補正（6,100万円）

④地域経済活性化基金積立金

地域の元気臨時交付金2次分内示に伴う積立（3億1,700万円）

⑤企業振興事業

企業立地促進等補助金の利用企業が増加したため増額補正（1,000万円）

3月定例会の予定

- 2・13（木）全員協議会
- 14（金）総務常任委員会協議会
- 17（月）文教常任委員会協議会
- 18（火）厚生常任委員会協議会
- 19（水）産業・建設常任委員会協議会
- 21（金）告示
- 26（水）議会運営委員会
- 28（金）本会議（開会）
- 3・5（水）本会議（一般質問）
- 6（木）本会議（一般質問）
- 7（金）本会議（一般質問）
- 10（月）総務常任委員会
- 11（火）文教常任委員会
- 12（水）厚生常任委員会
- 13（木）産業・建設常任委員会
- 14（金）予算特別委員会
- 17（月）予算特別委員会
- 19（水）予算特別委員会
- 24（月）本会議（表決・閉会）

◎全ての会議が傍聴可能です。なお、正式な日程は、市議会のホームページなどでご確認ください。



一般質問

市政全般について、11名の議員が質問しました



今泉 春江 議員

市税、国保税は差押えでなく相談収納に徹すべき

答 弁
相談収納はしている

Q. 平成24年度の市税の収納率が、県内13市で長井市がトップになったと報告されました。しかし、このなかで強制徴収、特に口座差押えが急増しています。平成24年度の差押えによる強制徴収件数は市税で690件、金額が3449万円、国保税で357件、1617万円余。合わせて1047件、5066万円余になります。収納率が上がったのは差押えが要因になっているのではないですか。

A. 差押えにより収納率が上がったのではありません。強制徴収による収納額は市税全体の1%、国保税では2.4%にすぎません。市民のご協力と職員の努力だと考えています。ぜひ評価していただきたいと思えます。

Q. 滞納を生まないために、①全ての税に応能負担の原則を厳格に貫くこと。②国保への国負担の削減などに対し、市と市民が一丸となって是正を求めること。③納税困難者には減免措置と滞納処分停止などを適用すること。④「まず差押え」でなく、相談収納に徹すること。以上4つの提案をします。

A. 滞納者の差押えは確かに増えています。先送りしてどこかの時点で納めていただかなくてはなりません。収入の少ない方からも納めていただいています。預貯金調査をし、残高があれば差押えし、その旨を連絡します。納められない理由を言っていただければ差押えはしません。相談して分納などを行っています。まさにこれが相談収納です。



江口 忠博 議員

バイオマスエネルギーの推進を図るべき

答 弁
県のエネルギー戦略を勘案し、施策を展開

Q. 水資源利用の他に、森林資源を活用したエネルギーの需給プランの検討が必要だと考えますがどうですか。

A. 再生可能エネルギー利用については以前から指摘されてきましたが、諮問中の第3次環境基本計画や、県のエネルギー戦略も勘案して展開させていくことが重要です。

Q. 水資源利用の他に、森林資源を活用したエネルギーの需給プランの検討が必要だと考えますがどうですか。

A. 再生可能エネルギーの普及促進を図る具体的施策として、来年度から、太陽光発電施設とバイオマス燃料機器の導入に対する補助制度実施のための予算要求を市民課で行っています。住宅の新築・改築補助と合わせた制度については、再度調査をして検討していきます。



蒲生 光男 議員

「道の駅」の工事費は青天井でも進めるのか

答 弁
建設費の節減に努める

Q. 東日本大震災後の復興工事ははじめとする需要増で、最近、人件費・資材費の高騰が公共工事に対しても影響を与えています。長井市が発注する公共事業に対しても影響がないのか心配ですが、今のところ大きい事業の発注はないので、それほど影響はないものと思えます。

A. 予算策定過程でも検討しますが、再生可能エネルギーの民間事業も支援したいと思えます。

数千万円です。人件費・資材費の高騰分が3割程度の大幅な上昇であり、これとどまるとのいかともわかりません。南陽市の文化会館や酒田市役所の例もあり大変問題になりました。

市長は、かわと道の駅の工事が青天井となっても仕事を進める考えなのか伺います。

A. 今年度の都市再生整備計画の変更に伴い、労務費や資材費の上昇による概算事業費の見直しが必要で、約3割程度の増額を見込んでいます。

「かわと道の駅」についても、飲食コーナーなどの追加や国の宿舍跡地の購入などを含めると、当初概算事業費約6億5千万円から約2億4千万円増の約8億9千万円として事業費の見直しを行っています。

今後、常識を超えた大幅な事業費増になれば、規模の縮小なども検討せざるを得ませんが、これから基本・実施設計業務を行いますので、具体的な施設設計や建設費を算出するうえで、節減に努めていきたいと思っています。



町田 義昭 議員

中央地区の河川改修は都市再生整備事業で

弁 答
整備計画以外の水路整備も今後検討

Q. 国の事業である調整水路の完成に伴い、一級河川とは別に、中央地区においては平成13年に準用河川として国の指定を受けていると聞いていますが、この指定は何を意味するのですか。また目的は何ですか。そしてどのように生かされてきたのですか。

A. 準用河川とは、住民の生活河川として治水や環境の保全上管理する必要があるとして、河川法に基づき市長が指定し、市が管理を行う河川のことです。各種の行為制限、

維持工事などによって管理に万全を期すことができます。

Q. 都市再生整備事業の見直し案が提示され、全体像が見えてきました。観光交流センター（道の駅）に類する以外は主に道路に関する事業となっています。

今年7月22日の集中豪雨の被害常襲地帯の河川改修は必須と考えます。また、近年のゲリラ豪雨は常態化すると思われることから、安全・安心のまちづくりの土台でもある都市再生整備事業の活用は有効な施策と考えますが、見解を伺います。

A. 都市再生整備事業は、交流人口の増加や中心市街地の活性化を目的に、基幹事業の観光交流センターなどの他、関連事業として道路・水路整備などを追加し、見直しを行っています。水路整備では、台町地内の大樋川と高野町地内の撞木川の整備を計画していますが、今後、事業期間内にも整備可能な他の水路についても検討したいと思えます。



高橋 孝夫 議員

市の責任と将来像を明示する時期とと思うが

弁 答
教育委員会や財団と検討

Q. 文教の杜が26年度から3期目の指定管理に入ると、指定管理料の債務負担行為が提案されています。

しかし、「指定管理者事業評価」には「長井市として文教の杜に対する方針とビジョンを明確にし、維持管理費や事業の実施体制を確保する責任を果たしていく必要があると感じる」という指摘があります。今、第5次総合計画策定作業が進んでいますが、基本計画には学校教育ばかりでなく生涯学習や芸術文化分野

でも「長井の心」が引用されています。この「長井の心」の発信地が文教の杜であり、長井市にとってまちづくりの大きな指針や拠り所となっています。長井の心の原点がある文教の杜を含めた文化施設の方向性を示すための取り組みを充実させる時期と考えますがどうですか。

A. 文教の杜は集中改革プランに基づいて指定管理者制度を行わざるを得ず、文教の杜の持てる力を生かした運営というよりはコストを下げるための部分がメインだったので、はないかと反省しています。また、文教の杜の将来像と財団をどうするかというのを、教育委員会に任せすぎたのかと反省しています。

長井の心の原点である文教の杜を拠点として、市民が幸せを実感し、生き生きと暮らす魅力あるまちづくりをするための施策を着実にしっかりと展開するために、教育委員会と意見交換しながら、財団の意思も踏まえ方向性を示さなければと思っています。

一般質問



小関 秀一 議員

150億円もの
今後の公共施設投資は
長期ビジョンで

併
答
公共施設の
整備計画を策定

Q. 米政策の見直し発表後、農家に不安が広がっています。飼料米生産の作付の可能性も含め、農業への影響や春からの作付までの対応を伺います。

A. 減反廃止も含め情報収集中ですが、需給にかなう飼料米生産の前提での試算は、本市の過去の実績から個々の取り組みは難しいと思われます。

Q. TPP交渉の不安の中、家族農業維持の後継者対策と、「農地バンク」における農地集約での農業委員会の役割はどうなるのか伺います。

A. 県の農業支援センターがベースになるようです。農業委員会での利用権設定の対象者の認定で企業参入などの規制は可能かと思われれます。

Q. 10年先を見据えた第5次総合計画の中の、市庁舎や文化会館など150億円もの公共施設への投資は、財政計画も含めて具現化するのですか。また、こうした本市の重要課題の取り組みは、市民の意向調査も含めた「公共施設マネジメント方式」で、優先順位や長期の整備方針が必要ですか。

A. 各施設の老朽化対策や総床面積の縮減、機能の効率化や集約化も含め、公共施設の整備計画を策定し、行財政改革推進委員会で議論します。

Q. 長井の福祉・医療の拠点たる「公立置賜長井病院」の耐震対策も含めた、将来のサテライト病院の方向付けを早期に市民に提示すべきです。

A. 医療施設の病床不足、在宅医療のあり方が緊急の課題です。本市の負担金残13億円の処理も含め、医師会と連携を図りながら協議を進めます。



竹田 博一 議員

コメ政策の見直しで
中山間地に将来はあるか

併
答
特徴ある長井の
農業を築く

Q. 政府は、10アールあたり1万5000円の定額補助金を5年後に廃止するという政策を決定しました。中山間地は、田との間に段差もあり、農道なども整備されておらず棚田状態であることから、仕事の効率も上がりません。定額補助金の廃止によって採算がとれなくなるのは必至であり、大規模農家を目指すにはあまりにも条件が悪すぎます。そのため農地の賃借も容易に進まず、耕作放棄地の心配もあります。中山間地に将来は

あるのか伺います。

A. コメの価格競争が激化する中で、生産性の低い中山間地は非常に厳しい状況になるだろうと思います。農地維持支払制度や資源向上支払いの充実に期待したいと思います。市民の皆さんや農家の皆さんと知恵を絞りながら、特徴ある長井の農業を築いていかなければならないと考えます。

Q. 百秋湖は無限の可能性を秘めた観光スポットです。11月2日は、停電のため展望台の仮設トイレの一部が不備で、観光客の不満も多々あったとのことですが、受入態勢を万全にして「おもてなし」の心を第一に考えるべきと思えますがどうですか。

A. 百秋湖遊覧が行われた11月2日は、天候もよく多くの方々においでいただきましたが、300人以上の方が乗船できず今後課題を残しました。今後このように多くの観光客がおいでになる事業の際は、関係機関とも十分に協議し、連携を深めなければならぬと反省しています。



赤間 恭広 議員

子ども達の命を守る
施策

併
答
保育士や教職員の
研修会を実施

Q. 昨年12月、東京調布市の小学校で、給食を食べた女子児童が、食物アレルギーに伴う急性症状※アナフィラキシーショックの疑いで亡くなった問題を受け、給食のアレルギー対策が改めて問われています。こうした悲劇を二度と繰り返さないためにも、徹底した検証と再発防止策の構築を急がなければならぬと痛感しています。

長井市において、園や学校での対応と対策はどのようなになっていますか。また常日頃、

※アナフィラキシーショック…以前に曝されたことのある抗原に対して生じる重度の免疫反応。具体的な反応としては、皮膚のかゆみ、浮腫、血管の虚脱、失神、呼吸困難などがあり、死に至ることもある。

教育委員会と消防署・医療機関との連携についてはどのように取り組んでいますか。

病气やけが、アレルギー症状、不測の自然災害などで救急搬送される際、学校と消防署・医療機関などが迅速に対応できる危機管理の取り組みが必要であり、「子ども安心カード」の導入を提案します。

A. 認可保育所と児童センターの入所児童の約5%にあたる37人に食物アレルギーがあるため、園では個別に代替食の提供などで対応しています。

小中学校の給食を提供する学校給食共同調理場の現在の施設環境では、アレルギー食の提供ができないので、材料を明確にした献立表を保護者にお届けし、アレルギー症状を起さないようにしています。また、緊急時に対応するため教職員の研修も実施しており、来年度は全保育所を対象に研修会を開催したいと考えています。

「子ども安心カード」については、導入に向け検討していきます。



昇 議員
我妻

長井の活性化に つながる60周年に

盛大にお祝いし、
観光客を誘致する

Q. 平成26年度は市政施行60周年事業に加え、山形DC、長井線100周年、大相撲長井場所、馬頭観音ご開帳など大事業が重なる年です。50周年の際は、財政面で地味にならざるを得なかったと思いますが、今回は長井市活性化の起爆剤となる取り組みにすぎます。各地区、各団体などで60周年に合わせた事業を計画していただけるよう、市の方針を早めに示してはいかがでしょうか。

A. 大きな区切りの年であり、

財政再建を乗り越えた時期ですので、市民の皆様と一緒に盛大にお祝いしたいと考えています。山形DCでは観光客誘致を、8月10日の大相撲長井場所に合わせて水まつりやパレードを、芸術祭はより幅広く、黒獅子まつりもより盛大に、各種スポーツ大会は冠をつけるなど、盛り上がるよう関係団体と協議を重ねていきます。60周年記念事業は時期を調整し早めにお示しいたします。

Q. 公共施設の老朽化対策、統廃合、今後のインフラ整備などを検討する際の基礎となる「公共施設白書」づくりに着手してはいかがでしょうか。老朽化の度合い、利用頻度、ニーズ、維持経費などを明らかにした上で、整備の優先順位や規模、費用などの議論を進めるべきだと思います。

A. 公共施設等整備庁内検討委員会でも白書のような現状把握は重要と認識しております。国の動向を踏まえ、事務負担が少なく実効性のある方法を考えてまいります。



信 議員
大道寺

経常収支比率を 重視すべき

財政運営の
健全性を念頭に

Q. 財政の各種指標のうち、実質公債費比率は、平成24年度決算ベースでは15.7%となり改善しています。経常収支比率は90.1%となり、これも改善しているものの、依然、硬直した財政状況にあるといえます。これは投資的経費にまわせる財源が10%程度であることを示しており、今後の投資事業を考える上で、経常収支比率も重視していくべきではないかと思いますが、見解を伺います。

A. 市の直近の経常収支比率をみると、改善傾向にあるものの、依然として望ましい水準にあるとは考えておりません。一方で、公共施設の老朽化対策など、避けて通れない課題も山積していることから、国、県の動向や市の財政状況などを見極めながら、財政運営の健全性を損なわない投資額を確保していきたいと考えています。

Q. 小中学校では、最近の傾向で障がいの重複化、重度化が目立つようになり、特別支援学級で複数児童を一人で担任することが大変になっていくといわれています。これまでは緊急雇用対策事業などでは教員の加配をしましたが、緊急雇用事業が終了しても最大限の予算措置が必要だと思います。考えをお聞かせください。

A. 特別支援を必要とする子どもは年々増加しており、来年度は、支援員の増員について校長会から要望されています。この要望に応え、特別支援教育支援員を配置しながら、学校全体で見守る体制の強化を考えていきます。

一般質問



梅津 善之 議員

特色ある循環農業を
目指しては

答 弁
土づくりと農業の
体験観光を目指す

する本市において、堆肥散布・土づくりは最も重要なものです。*耕種農家の意向や畜産農家の状況を調査し、どのような体制が最も効率的か検討します。

米作は、大変有力な観光資源であり、田植え稲刈りなどの体験観光を進めていきます。Q. 朝日町では、町おこしの一環として「*エコミュージアム」を取り入れています。長井市はものづくりの町として栄えてきました。中小企業の力を結集して新しい商品の開発に取り組んでいく、そのきっかけとして行政で場を設ければ、工業はもとより農・商・観光にも活かせるのではないですか。

A. 農・商・観・工の連携については、ここ数年で、西置賜産業会とレインボープランなど、さらに農業高校との情報交換や連携の機会を設けています。また、山形県においても六次産業化についての懇談会が開催されるなど、各産業間の連携による新たな産業づくりを探ってまいります。

Q. レインボープランの堆肥は、散布の大きさを理由の一つに、使用する農家が横ばい・減少傾向にあります。そこで、行政が畜産農家などと提携して堆肥を散布するシステムを構築していけば、レインボー野菜の増加が見込めるのではないですか。

A. レインボープランを提唱

する

議会運営委員会
行政視察報告

タブレット端末の導入について

(埼玉県飯能市議会)

平成25年10月21日

情報機器の高度化と普及が進んでいる今日、行政事務のみならず議会としてもタブレット端末の導入は遠くない課題と考えられます。そこで、当委員会として先進地である飯能市議会を訪問し研修してまいりました。

一、導入のきっかけ

飯能市では環境への配慮からペーパーレスを推進しており、議会でも平成23年11月からタブレット端末機器を導入し、ペーパーレス化に取り組んだ。

二、活用事例

①これまで全員協議会で配付されていた資料のペーパーレス(議事録や説明資料など)、②議員と事務局の各種文書送受信、③災害時などの緊急通信や被災状況写真の送信、④先進事例調査

三、導入の効果

議事録や資料の印刷製本などで約210万円の削減(紙の使用量で約10万枚)

四、課題

有料サイトやネット売買への対応、持込みマナーなど利用のルール作りが必要。

初期設備費用と維持管理費用を合わせても3年で元が取れる事業であることに驚きました。長井市議会においても昨今の高度情報化社会の中で環境負荷軽減や経費削減、迅速かつ的確な情報処理のためにも情報端末機器の導入は課



タブレット端末活用事例について

題として考える時期に差ししかかっていると感じました。

議会基本条例の策定状況と
進め方

(東京都小金井市議会)

平成25年10月22日

長井市議会では現在、議会基本条例の策定作業に取り組んでいる最中ですが、同じ状況の小金井市議会の議員の皆さんと意見交換してまいりました。条文を一つ一つ積み上げていく過程は共感するところが多く勇気づけられました。多様な意見を取りまとめなければならぬ議会ならではの苦悩も垣間見られ大変な議会運営でもあると感じました。

長井市議会も議論を開始してから3年目を過ぎようとしていますが、議会基本条例は体裁だけ整えればよいというものではありません。市民の皆さんからも歓迎される、そして自ら襟を直し信頼される議会づくりのため条例策定に向け取り組んでいく決意であります。

*耕種…田畑を耕し、作物をつくること。

*エコミュージアム…地域の人びとの生活、自然、文化および社会環境の発展過程を史的に研究し、それらの遺産を現地において保存、育成、展示することによって、当該地域社会の発展に寄与することを目的とする野外博物館。

予算特別委員会

総括質疑

高齢者・生活弱者への除雪支援は

赤間恭広委員 平成24年3月の定例会で、除雪支援のさらなる拡充について質問・提言をしましたが、その後市当局の理解を得て所得限度額を105万円から130万円に見直していただきました。限度額引き上げ前と後の利用者数の推移を教えてください。

福祉生活あんしん課長 平成23年度の実利用者は33名、サービス回数は47回で、改定後の利用者は54名で対前年度比63%増、サービス回数は70回で48%増と伸びています。

委員 昨今の生活弱者を取り巻く環境が大変厳しくなっています。ある程度の線引きは必要だとは思いますが、ぜひ柔軟な対応・緩和をしていただきたいと提言します。

市長 どこで区切るかご議論いただき、他の市町村の状況

を見ながら検討します。

委員 長井市においても「ふるさと納税」を強力に推進していくべきと考えます。

企画調整課長 長井市出身者やゆかりのある方を対象に制度のPRを行っています。



生活弱者への支援は柔軟に

観光交流センターの議論はしつかり時間をかけて

高橋孝夫委員 観光交流センター関連の委託事業の成果品はいつ出てきて、内部での検討を経て考え方がまとまるのはいつごろになるのか、議会への説明時期はいつごろを予定しているのですか。

まち・住まい整備課長 測量

は今年中に終わらせ、基礎調査は現在進行中で、基本設計は1月から本格的に入りたいと考えており、成果品が出るのは年度末ギリギリになると思います。議会へは5月の協議会で基本設計の内容を説明できると思っています。

委員 新年度予算には観光交流センター関連の予算は出ないということですか。

市長 建設費の予算は出ませんが、実施設計と用地買収の予算が出てきます。

委員 議会に説明後、1〜2カ月は議論を集中していく期間を担保する必要があります。

市長 実施設計の予算を組んだとしても、発注は時間を見て十分な説明をして、ご理解いただきたいながら進めていきたいと思っています。



違法な口座差押えはやめ 差押え金の返還を

今泉春江委員 長井市は、市税、国保税の差押え件数が、置賜3市5町で断トツの一位で、年金、児童手当振込の偶数月に集中しています。5年間で4倍近く急増しています。

市長 これほど断トツとは把握していませんでした。差押えの急増は議員の指摘で初めて知りました。相談窓口を開くなど改めたいと思います。

委員 市長は相談収納しているといいますが、私が示した事例も相談収納といえますか。

市長 こうした実態は知りませんでした。私が一つ一つ指示することは不可能です。しかし、相談して納めてもらえないようにしなければならなかったと思います。

委員 「児童手当差押えは違法」の判決が確定しました。違法差押えはやめ、差押え金の返還をすべきです。

市長 判例が出たので今後児童手当の差押えはしません。年金は、国、県と協議したい

と思います。差押え金の返還は国からの通達がないと市独自ではできません。

インターネットによる 議会中継を実施中

長井市議会では、本会議、予算特別委員会及び決算特別委員会の様子をインターネットで配信しています。「生中継」はもちろんのこと、生中継終了概ね3日後からは、ご都合のよい時間に「録画中継」もご覧いただけます。

議会中継は、市または市議会のホームページの「議会中継」からご覧いただけます。2台のカメラで撮影していますが、傍聴に勝るものではありません。

ぜひ、議場にも足をお運びください。



第2回市民との意見交換会 を開催しました

～より一層の市民参加と開かれた議会を目指します～

“意見交換会の要旨をお知らせします”

■議会報告会の継続に 向けて

長井市議会主催の第二回「議会報告会」市民との地区別意見交換会を11月5日から14日まで、7会場で開催させていただきました。

市議会では、議会活性化を目指して、さまざまな活性化策を検討中ですが、その中でも今回開催した市民との意見交換会は、現在策定作業中である「議会基本条例」の中に盛り込むべき重要なものです。第二回となったこともあり、より具体的なお提言や貴重なご指摘をいただきました。

ご参加いただいた皆さんに感謝申し上げます。現在も議会の活性化策を模索し続けていますし、最近の全国的な例では、議会基本条例の策定や議会報告会が積極的に実施されています。

長井市議会でも、これに呼応した取り組みを強化し、少しでも信頼される議会を目指し続けてまいります。

■日頃の市政への「意見」 ご提言に感謝！

参加者からは、最近の市政の動きについて多くの貴重なご意見をいただきました。

「道の駅」の場所や運営方法へのご提言、生活道路の整備・改善。また、体罰やいじめ問題の解消策に投書箱を設置してはどうかなどの具体的なご提言や、市庁舎や文化施設建設の進め方など財政面も含めたご意見をいただきました。今後の議会活動の参考にさせていただきます。

■周知方法は一層の 改善が必要

市民との意見交換会を実施してみても、参加者が少なかつたことの最大の理由に「開催していることすら知らなかった」という声が多く聞かれました。今後は周知方法の改善に努めますので、多くのご参加をお願いします。

次回開催に向けて、できれば新年度予算や決算を審議する議会の終了後に開催するの

が望ましいと思っております。今後ともご意見をお寄せいただけますようお願いいたします。

会場を持ち帰らせていただいたご質問などにお答えいたします。

総務常任委員会から

問：人口減少化の流れを第5次総合計画ではどう捉えているのか。(西根)

答：総合計画では人口減少を2万6千人で食い止めようとしています。議会では、働く場づくり、産業振興、婚活、子育て支援などの諸施策をしっかり議論し、減少の流れを止めるべく努力していきます。



西根地区公民館(1班)

文教常任委員会から

問：市の6台のスクールバスの内3台はエアコンがなく、猛暑が続く近年は大変だと聞いています。登下校だけでなく部活動の遠征などにも活用しており、早急にエアコン付きのバスに更新してほしい。(西根)

答：長井市のスクールバスは6台ありますが、内3台にはエアコンがありません。相当古くなっているものもあり、年度ごとに計画的に更新していくこととしています。平成28年度にはすべてのスクールバスはエアコン配備となる予定です。



致芳地区公民館(1班)

問: 今年度から「がん検診料金」が引き下げられました。配慮いただきありがとうございます。これによりがん検診の受診率は向上しているか。

答: 新年度予算が成立(昨年度3月末)してからの周知(4月中旬)となりましたので、市民の皆さんへの浸透が行き届かない面もありましたが、昨年12月末現在で、前年度と比較して、胃がん、乳がん、前立腺がん、いずれの検診も受診者数は増加しており、全体で5%程度伸びています。受診率の集計にはもう少し時間がかかります。

厚生常任委員会から



平野地区公民館(2班)



豊田地区公民館(2班)

なお、26年度の検診については、すでに低料金での案内を行っていただきますので、さらに受診者が増えることを期待しています。皆さんの健康維持のため、今後も受診率の向上にむけて検証していきます。

問: 年々学童クラブに通う児童が増えてきている。施設の充実は当然だが、人的な支援も必要ではないか。(平野)

答: 利用児童が増加しており、児童センターの空き教室などでの実施が厳しくなっています。ゆとりある施設での学童クラブの実施に努めるとともに、十分な指導員の確保や資質向上など、保育体制の充実についても当局と一体となって取り組んでいきます。

問: 国道113号と287号が合流する今泉産業団地十字路から旧道に入る踏切までの通学路が狭く、冬場は特に危険だと感じるが、一方通行などの対策をしてもらえないか。(豊田)

答: 豊田小学校PTAから歩道設置の要望がありました。道路幅員が狭いことから実現に至っておりません。また、地元地区からの側溝蓋掛けなどの要望については、設置対応しています。今後、注意喚起の道路標示を設置するなど安全確保策に努めます。

問: 県道椿長井線と市道小出南線の交差点(館町南ショッピングモール周辺)で交通量の増加による大渋滞が問題と

産業・建設常任委員会から



伊佐沢地区公民館(3班)

なっている。右折レーンが設置されると聞いているが、どうなっているのか。(豊田)

答: 市では重要事業として早期着工を県に働きかけており、交差点東側の市道小出南線は、23年度に先行して右折レーン幅を確保しています。県では今年度から事業着手し、27年度の改良工事完成を目指し、用地の取得など関係者の理解を得ながら進めている状況です。議会としても早期改良を要望していきます。

問: ものづくりで栄えた長井のまち興しに「エコミュージアム」を取り入れ、工・農・商・観光に活かしてはどうか。(平野)

答: 朝日町の先進事例を研究し、各産業間連携による新たな産業づくりを探るなど議会として調査していきます。

問: 企業誘致には市とともに議会も関わってほしい。(西根)

答: 今までもさまざまな形で協力支援をしてきましたし、今後もみなさんと積極的に意見交換をしながら、議会として企業進出しやすい環境整備

などについても当局と一体となって取り組んでいきます。

問: 市南部が賑わい、北部は冷めている状態である。市全体の均衡化を図る必要があると思うが、議会としての考えや計画はないのか。(西根)

答: 北部振興策や西廻り幹線道路整備要望など議員個人で活動しておりますが、議会としても均衡ある地域の活性化に向けた政策を討論し、今以上に關心を持って取り組んでいきます。

問: 旧市役所第三庁舎(日産南側)空地の活用はどう考えているのか。(中央)

答: 以前は借地し、国土調査室などで使用したことがありましたが、現在は、更地として所有者に返却しています。特に利用計画はありません。



交流センターふらり(3班)

総務常任委員会
行政視察報告

公共施設更新問題に
対する取り組み

(神奈川県秦野市)
平成25年10月28日

一、白書づくり

私たちの身の回りには、様々な公共施設があり生活を支え、便利さを作り出していますが、近い将来、一斉に更新する時期が必ずやってきます。同時に、高齢化と人口減少が進んで財政状況が悪化し、現状のままでは必要性の高い公共施設まで良好な状態に保てなくなる恐れがあります。これが「公共施設の更新問題」です。

秦野市では、公共施設の総量を維持し続けることは不可能であり、自分たちの便利さや豊かさを求めて結論を先送りすることは、次世代に大きな負担を押し付けることになると考えました。そこで、職員も市民も共通認識を形成できるように「公共施設白書」を作りました。量や経費、利用

状況の視点から公共施設の現状と課題を明らかにしたので、行政に都合の悪い情報も利用者にも都合の悪い情報も、包み隠さず全てを公開することで、議会や職員や市民による真の議論を目指しました。

二、再配置計画づくり

白書を元にしたオープンな議論から、公共施設更新の基本的な方針を定めました。

①原則として、新規の公共施設は建設しない。②現在ある施設は優先順位を付けたうえで圧縮していく。③優先度の低い施設は統廃合や売却の対象とする。④40年かけて施設面積を31%減らし、346億円の財源不足を解消する。これらを基本とし、向こう40年間の再配置計画の策定に至りました。シンボル事業として障がい者施設の民営化、保健福祉センターへの郵便局誘致が実現し計画がスタートしています。

同じ課題を抱えている長井市でも共通認識を持ち、オープンな議論を始めなくてはなりません。

人事

人権擁護委員の
推薦に同意

安達英一さん
(九野本3207番地)



(注)

11月臨時会及び12月定例会に上程された議案については、全ての議案を全会一致で原案のとおり可決したため、今号の「議案に対する賛否一覧表」の掲載はありません。

「議会だより」読者モニター
募集します!

議会だよりの編集にあたり、多くの皆さんに読んでいただきやすい紙面づくりに努めてまいりました。

今後はさらに、市民の皆さんと議会の双方向性を大事にし、皆さんから意見や提言、感想などを聞かせていただき、より良い紙面づくりに活かしたいと考えています。また、議会活動全般についても、遠慮なく皆さんからお寄せいただきたいと考え、読者モニターを募集することにいたしました。

つきましては、ご協力いただける方のご連絡をお待ちしております。お寄せいただいた意見、提言、感想などについては議会だよりに掲載させていただきます。ご了承ください。

お問い合わせ

議会だより編集特別委員会
(市役所議会事務局内)
Tel 88-2900

編集後記

今年も「だんご下げ」「やははえろ」さらに「節分の豆まき」など、季節の行事が長井でも各地域で行われています。

郷土に伝わるさまざまな伝統行事は、その意味を知り、大切に守り傳承していかななくてはならないという思いを強くします。さて今年も午年。長井市議会が、市民の幸せを守る駿馬となつて駆けあがる年にしたいものです。

議会だよりが一層市民の皆様のお役にたてるよう努めてまいります。ご感想をお寄せください。(H・I)

ながい市議会だより
編集特別委員会



梅津 善之 江口 忠博 赤間 泰広
今泉 春江 ◎小関 秀一 ○我妻 昇
(◎委員長 ○副委員長)